

東京国立博物館公式キャラクター
ユリノキちゃん トーハクくん

特別展や秋の庭園開放、 芸術の秋はトーハクで楽しむ！

東京国立博物館では、平成館で興福寺中金堂再建記念特別展「運慶」、表慶館で「フランス人間国宝展」を開催中です。また、10月24日(火)からは「秋の庭園開放」も始まります。トーハクで秋を満喫しませんか？

特別展情報

「フランス人間国宝展」

会期：9月12日(火)～11月26日(日) 会場：表慶館

フランス人間国宝の技と美の結晶が表慶館に集結！

日本の通称「人間国宝」(重要無形文化財保持者)にならい、フランスの伝統技術の継承者に対し、人間国宝(メートル・ダール(Maître d'Art))という称号がつけられました。本展は「メートル・ダール」の認定を受けた13名と、次期「メートル・ダール」と目される2名、計15名の作家による作品約230件を紹介します。会場は明治末期の洋風建築を代表する建物、表慶館(重要文化財)。展示デザインは世界的に注目される建築家、リナ・ゴットメ氏が手掛けました。リナ氏が来場者の皆様を別世界へと誘う会場デザインも見どころです。

主催：東京国立博物館、NHK プロモーション、朝日新聞社、HEART & crafts
報道関係お問合せ：「フランス人間国宝展」広報事務局(株式会社ヴィジョン・エイ内)
TEL：03-3402-5574 E-mail：fr-treasures.jp@vision-a.com



<第2室展示風景>

手前はエルメスのケリーバッグを手掛けたフランスを代表する革細工作家、セルジュ・アモルソ氏の作品

興福寺中金堂再建記念特別展「運慶」

会期：9月26日(火)～11月26日(日) 会場：平成館 特別展示室

大好評開催中！ 史上最大の運慶展

日本で最も著名な仏師・運慶(生年不詳～1223)をテーマに、各地に伝わる運慶の作品が集結する展覧会です。

第2章で展示している興福寺所蔵の「四天王立像」は、現在は南円堂に安置されていますが、もとは北円堂所在とする説があります。これを受けた試みとして、会場では「四天王立像」を北円堂安置の「無著・世親菩薩立像」と同じ空間に展示しています。展覧会だからこその、夢の展示です。

主催：東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、テレビ朝日
報道関係お問合せ：「運慶展」広報事務局(ウインダム内)
TEL：03-6661-9602 E-mail：unkei@windam.co.jp



国宝 四天王立像のうち多聞天像

鎌倉時代・13世紀

奈良・興福寺蔵(南円堂安置)

写真：飛鳥園

今後の特別展情報



リリース

特別展「仁和寺と御室派のみほとけ一天平と真言密教の名宝一」

会期:2018年1月16日(火)～3月11日(日) 会場:平成館 特別展示室

秘仏や本尊を含む仏像約70体が一堂に!

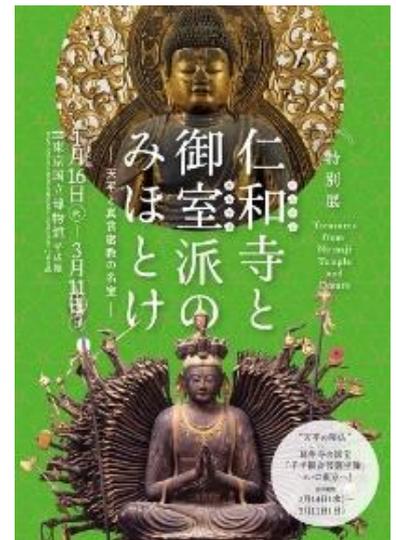
真言宗御室派総本山の仁和寺は、光孝天皇が仁和2年(886)に建立を発願、次代の宇多天皇が仁和4年(888)に完成させました。歴代天皇の厚い帰依を受けたことから、優れた文化財が数多く伝わります。本展では、仁和寺と、仁和寺を総本山とする御室派寺院が所蔵する名宝の数々をご覧ください。中でも仁和寺創建当時の本尊「阿弥陀如来坐像」(国宝)や江戸時代以来初めて東京での公開となる葛井寺の「千手観音菩薩坐像」(国宝)(展示期間:2月14日(水)～3月11日(日))に加え、道明寺の十一面観音菩薩立像(国宝)や中山寺の「馬頭観音菩薩坐像」(重文)など、普段は公開されていない数多くの秘仏を含む合計約70体の仏像を一堂に公開します。

仏像ファンは必見です!

主催:東京国立博物館、真言宗御室派総本山仁和寺、読売新聞社

報道関係お問合せ:特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」広報事務局(ユース・プランングセンター内)

TEL:03-3406-3419 E-mail:ninnaji2018@yocpr.com



<チラシ画像>

秋の庭園開放

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> >> 催し物 >> イベントをご覧ください

10月24日(火)～12月3日(日) 10:00～16:00

料金:入館料のみでご覧いただけます

庭園入口:東洋館レストランゆりの木脇、

または平成館と本館の間

本館北側の庭園を期間限定で開放します。期間中は、色鮮やかな銀杏やもみじとともに、庭園に点在する茶室をご覧ください(茶室内部は非公開)。庭園内には、ベンチもありますので、美しい庭園を眺めながらゆったりとした時間をお過ごしいただけます。※荒天により中止になる場合があります



<庭園の風景>

黒田記念館 特別室開室

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> >> 展示をご覧ください

10月31日(火)～11月12日(日)

黒田記念館 特別室

日本近代洋画の父といわれる黒田清輝。1924年(大正13)年に没する際、遺産の一部を美術の奨励事業に役立てるよう遺言しました。それをうけて1928年(昭和3)に竣工したのが黒田記念館です。通常は黒田記念室で黒田の作品を公開していますが、年に3回、代表作「湖畔」、「智・感・情」、「舞妓」(以上、重要文化財)、「読書」の4件を限定公開する特別室を開室しています。紅葉に彩られた黒田記念館の風景は格別です。この機会にぜひ、お立ち寄りください。



<特別室の展示風景>

総合文化展 注目の作品

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> ※ 展示をご覧ください

四季花鳥図巻 巻下

酒井抱一筆 江戸時代・文化 15 年(1818)

東京国立博物館蔵

10 月 31 日(火)～12 月 17 日(日)まで

本館 8 室



(部分)

姫路藩主の次男として江戸に生まれた抱一は、

俳諧や能を嗜むとともに尾形光琳に私淑して江戸に琳派を再生させました。本作は、琳派の画家がしばしば用いた「たらしこみ」による豊麗な色彩に、抱一の特徴である軽快さと叙情性が加わっています。今回展示する下巻は秋から冬にかけての情景。この季節にぴったりの作品をお楽しみください。

講演会／ワークショップなど

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> ※ 催し物をご覧ください

<講演会>

■月例講演会「甲冑入門」

室町時代から江戸時代の甲冑の種類や特色についてお話しします。

日時:10 月 21 日(土) 13:30～15:00 *開場は開始の 30 分前(予定)

講師:池田宏(客員研究員)

会場:平成館大講堂 定員 380 名 聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)

■月例講演会「室町時代のやまと絵」

前代の伝統を引き継ぎつつも、革新性をそなえた室町時代のやまと絵。その豊かな表現世界とともに、これらを描いたやまと絵師たちの画業をたどります。

日時:11 月 4 日(土) 13:30～15:00 *開場は開始の 30 分前(予定)

講師:土屋貴裕(特別展室主任研究員)

会場:平成館大講堂 定員 380 名 聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)

<ワークショップ・ツアー>

■日本文化との出会い「きもの体験」

日本の伝統衣装を着て記念撮影ができます。きものにこめられた美意識や、生活文化を感じてください。

日時:10 月 24 日(火)～11 月 5 日(日)

火・水・木・日曜日、11 月 3 日(金・祝) 11:00～16:30

金・土曜日(11 月 3 日<金・祝>を除く) 15:00～20:30

*当日受付。受付は会場で、終了時間の 30 分前まで

*体験は一人 1 着

会場:本館特別 4 室

定員:各日 30 名(先着順)

参加費:500 円(ただし、高校生を除く 18 歳以上 70 歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

■日本文化との出会い「書体験」

日本文化を代表する「書」に親しむ第一歩。トーハク所蔵の国宝「賢愚経(大聖武)」をお手本に、きれいな色紙に一文字、筆ペンで書いてみましょう。

日時:11月7日(火)～11月30日(木)

火・水・木・日曜日 11:00～16:30

金・土曜日 15:00～20:30

*当日受付。受付は会場で、終了時間の30分前まで

会場:本館2階ラウンジ

定員:各日200名(先着順)

参加費:100円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

■アートスタジオ「子どもの勾玉作り」 事前申込制

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時:12月3日(日) 13:30～15:30

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象:小学3年生～中学生(保護者の見学も可)

定員:20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は別途当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトまたは往復はがき *詳細は申込方法は当館ウェブサイトをご覧ください

申込締切:11月6日(月)必着

お知らせ

■休館情報

下記の展示館・シアターを一時休館・休演します。

東洋館:12月11日(月)～2018年1月1日(月・祝) [展示環境整備のため]

TNM&TOPPANミュージアムシアター:11月6日(月)～2018年1月1日(月・祝) [上演環境改善のため]

■11月3日(金・祝)は「留学生の日」

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)およびその同行者は総合文化展が無料となります。(入館の際には学生証をご提示ください)当日は英語で行う作品ガイドやお茶体験などを行います。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

■「東博ボランティアデー2017」開催

12月1日(金)・2日(土)に「東博ボランティアデー2017」を開催します。お客様にトーハクでの時間を「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために、当館では、約150名のボランティアが活動しています。ボランティアデーでは、2日間にわたり、ボランティアによるさまざまな催しを行います。2日間のスケジュールは当館ウェブサイトをご覧ください。

〇お問い合わせ 東京国立博物館 広報室 〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

TEL: 03-3822-1302(広報直通) FAX: 03-3822-2081 E-mail: pr@tnm.jp URL: <http://www.tnm.jp/>

〇プレスリリースをダウンロードできます。

特別展などのプレスリリースをウェブ上で公開しています。当館ウェブサイト、トップページ下にある「プレスの方へ」をご覧ください。